

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

FUTURE DESIGN

vol. **38**
2 0 1 4

安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

特集●交通と都市の未来形

眺める宇宙から
住む宇宙へ

東芝エレベータ株式会社
TOSHIBA ELEVATOR AND BUILDING SYSTEMS CORPORATION

eco スタイル

FUTURE DESIGN

vol. 38
2014

安全で快適なエレベーターの
未来をデザインする

CONTENTS

03-09 特集・交通と都市の未来形

眺める宇宙から 住む宇宙へ

宇宙空間での新たな生活を夢見て

10-13 ユーザー訪問・乗り心地、いかがですか？

vol.6

石巻グランドホテル

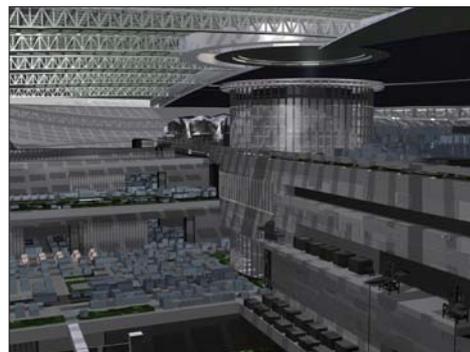
14-15 連載・私の忘れられない本・映画

太田 光代さん(会社経営者、タレント)

16 連載・藻谷浩介のがんばる地方都市
第2回

山形県新庄市

【表紙解説】



月は私たち人類にとって最も身近で特別な天体です。1969年、アポロ11号の乗組員が人類で初めて月面に降り立った時、世界中がこの快挙に沸き立ち、宇宙に対する見方が変わりました。月は人類が宇宙に活動範囲を広げる足がかりであり、「港」なのです。今号の表紙は、アニメ「機動戦士ガンダム」シリーズで描かれた月面初の恒久都市「フォン・ブラウン市」です。月面都市はまだ実現に至っていませんが、あと数十年後には月で生まれた人類の子孫が地球を眺めているかもしれません。

CG制作：太田浩史+福島慶介
出典：『機動戦士ガンダム公式設定集 アナハイム・ジャーナル U.C. 0083-0099』（株式会社KADOKAWA）
©創通・サンライズ

ごあいさつ



このたび、4月1日をもって、代表取締役社長に就任いたしました。より安全・快適で環境に配慮した移動空間・住環境と高いサービス品質のご提供を目指し、全社一丸となり邁進してまいります。引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

東芝エレベータ株式会社
代表取締役社長 松原 和則

（ アンケートにご協力ください ）

『FUTURE DESIGN』vol.38に対するご感想をお寄せください。抽選で10名様に、岩手県の伝統工芸品として知られる南部鉄器のカラーポットとポット敷きのセットをお送りします。このポットは、カモミールの可憐な花が全体的に配され、少し華やかでかわいらしい雰囲気デザインです。容量は0.65リットルで、標準的なティーカップで約4～5杯分の紅茶をお楽しみいただけます。



●応募方法

同封のはがきまたはFAX用紙、E-mailでご意見をお送りください。以下のWebページ内にあるフォームからご意見をお寄せいただくことも可能です。
<https://www.toshiba-elevator.co.jp/SSL/camp/campaign.jsp?pk=1397616918010>

●締め切り

2014年8月31日到着分まで有効。



東芝エレベータ株式会社

FUTURE DESIGN

vol.38 2014

2014年5月31日発行 発行 東芝エレベータ株式会社 広報室
〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
電話 (044)331-7001

URL <http://www.toshiba-elevator.co.jp>

E-mail elevator@po.toshiba.co.jp

制作 有限会社イー・クラフト+有限会社ベル・プロダクション デザイン 手塚みゆき
印刷会社 株式会社メディア グラフィックス



地球環境に配慮した植物油インキを使用しています。

特集●交通と都市の未来形

眺める宇宙から 住む宇宙へ

宇宙空間での 新たな生活を夢見て

今までは眺めるだけの遠い存在だった宇宙が、
今後はもっと身近になるかもしれない。
地上と高度110kmの地点を往復する

民間宇宙旅行の開始がいよいよ目前に迫り、
宇宙旅行産業の誕生を見すえた宇宙ホテル構想が提案されている。
また、地球にエネルギーを伝送する月面太陽光発電だけでなく、
月面基地構想、火星地球化計画など、

人類が月や火星に住む時代を視野に入れた研究も
着々と進められている。

狭くなってきた地球を飛び出し、
宇宙から地球を眺めるようになる時代が
あと数十年で到来するかもしれないのだ。

今回は、「眺める」から「住む」に変わるようになっている
新しい宇宙への「旅」にご案内しよう。

写真提供：NASA



the Earth

世界で初めて地球を外から眺めた
ガガーリンになった気分!



★
タカハシ氏のナビゲーター

竹内薫氏

家に4匹の猫を飼う
猫好きサイエンス作家



★
タカハシ氏の助手

エレベッチ

東芝エレベーターの
イメージキャラクター

竹内薫氏 たけうち かつお
1960年生まれ。東京大学
教養学科、物理学科卒業。マ
ギル大学大学院博士課程修了
（論理博士）。科学評論、エッセ
イ、書評、講演など、活動分野
は幅広い。NHK Eテレ「サイ
イエンスZERO」のナビゲ
ーター、「ジテレ」系「たけし
のコマ大数学科」の解説者と
して知られ有名。2005
年、火星地球化計画（角川ツ
ティア文庫）「体感する宇宙」
KADOKAWA/エンタール
イン、ベストセラーとなった
「100.0%は仮説」（金文社新書）
など著書多数。

宇宙を

特集 ● 交通と都市の未来形 自然美としての宇宙、 体感する宇宙

かつては地上から眺めることしかできなかった宇宙。しかし、近年は、プラネタリウムが進化し、宇宙をもっと気軽に体感できるようになってきた。古代の日本人は宇宙をどのように見てきたのか、最新のプラネタリウムでは、宇宙をどのように見ることができているかをまずは紹介する。



眺

める

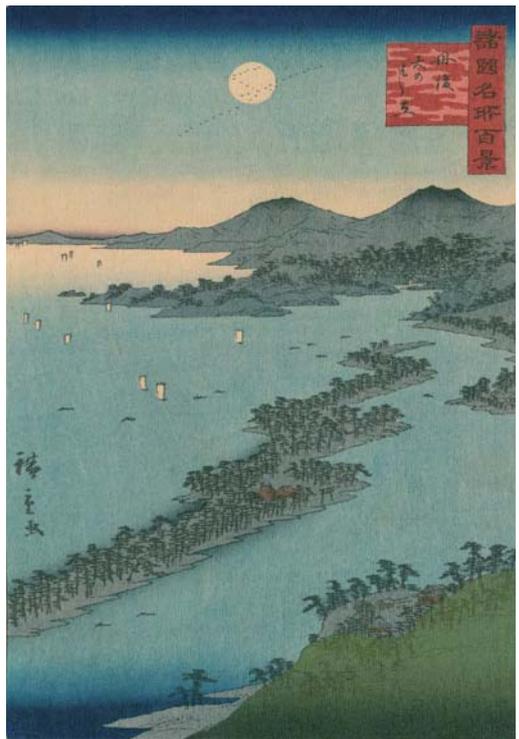
「うちゅうをながめる」

古代の日本人が見た宇宙

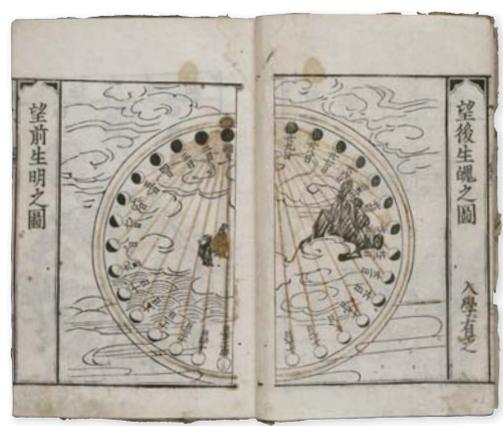
7世紀末から8世紀初めにつくられたと考えられるキトラ古墳(奈良県明日香村)の石室天井には「星宿図」と呼ばれる天文図がある。「星宿」とは古代中国の星座のこと、私たちが知っている北斗七星の姿も描かれている。太陽の通り道「黄道」や月も描かれた精緻

な図だが、古代の日本人は宇宙や星をどう捉えていたのだろうか。宇宙物理学者の二間瀬敏史氏は次のように話す。

「日本で天文観測が始まったのは7世紀で、天文現象から吉兆が占われたりしました。しかし、それはあくまで中国の思想によるもの。キトラ古墳の星宿図も日本独自の体系ではありません。日本人としては、あくまで自然のひとつとして、あるがままの星空を眺めたのだと思います。例えば、日本人は、新月、上弦、下



日本人は、浮世絵のなかに、風景のひとつとして月を好んで描いてきた。写真は歌川広重(2代目)作「諸國名所百景」の「丹後 天のはし立」。



862年から800年以上にわたって日本で使われてきた暦「宣明(せんみょう)暦」(第1巻、1644年)。月の満ち欠けの周期をもとにしていた。

所蔵：国立国会図書館



二間瀬 敏史氏 ふたませ としひみ 東北大学大学院理学研究科教授

日本人にとって、月は特別な存在なんです。





「天空」の内部。中央には、リアルな星空を映し出す光学式と、宇宙空間を迫力の映像で再現するデジタル式の2種の投射機が設置されている。



2012年5月、東京スカイツリー®と同時オープンした「天空」は、東京スカイツリータウン®のなかの人気スポットだ。入口の向こうは、青い光に包まれたホワイエ。宇宙への旅立ちと未来的なイメージが湧いてくる。



今のプラネタリウムは、宇宙を体で感じる事ができます。



弦、十五夜など、満ち欠けする月に様々な異称を与えてきました。これは日本人の月に対する強い関心を示しています。人の気持ちを託するもの、あるいは暮らしの一部として、月を親しく捉えていたのは確かです」

雪月花というように、月は自然美の代表だ。その月を見て暦をつくり、浮世絵を描き、仲秋の名月には今も稲穂に見立てたススキを供える。盆踊りは旧暦の十五日でこそ満月の下で楽しめる。

「ヨーロッパ人は月を滑らかな球体と考えていましたが、日本人は文明の進んだ遠い外国のように捉えていたかもしれません。『竹取物語』は、月を憧れの地と考えているかに思えます」(二間瀬氏)

日本人と月の深く古いつながりは、誰もが知っている物語や風習のなかに少なからず息づいているようだ。

最新の宇宙をリアルに体感

現代において、宇宙の姿を最もリアルに体感できるのはプラネタリウムだ。ヨーロッパでは古くから天体の動きを再現する機械がつけられており、プラネタリウムによって私たちは映像で再現された天

球のなかに身を置くことができる。

プラネタリウム機器メーカー、コニカミノルタプラネタリウム株式会社が運営する「コニカミノルタプラネタリウム天空」in東京スカイツリータウン」では、地上から見上げる星空だけでなく、宇宙へ昇り、星々の間を旅していく感覚を全天周映像で味わえる。

これを実現しているのは、光学式投射機とデジタル式投射機のシームレスな連携だ。前者は夜空の星々をその隣まできわめて正確に投射でき、後者は最新の天文データベースに基づくシミュレーションにより、過去、未来の星空やはるか彼方の宇宙をも投射できる。同社統括プロデューサーの北島一範氏は、そのリアルな星空とダイナミックな宇宙の体感をとことん楽しんでもほしいとしたうえで、「空とのつながりを忘れず、この地球に生きていくことを感じてほしい」という願いも託している。



北島 一範氏(たけはら かずのり)
コニカミノルタプラネタリウム株式会社
新規事業部 直営グループ
統括プロデューサー

SFが描いた宇宙旅行と移住



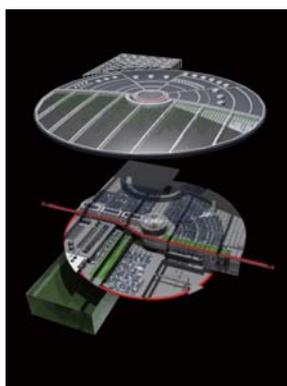
磯達雄氏(いそたけお)
株式会社フリックスタジオ
取締役
エディター/ライター

宇宙への旅が具体化するはるか以前から、それを描いてきたのがサイエンスフィクション(SF)だ。SFの祖のひとり、ジュール・ヴェルヌの『月世界旅行』(1865年)では、巨大な大砲で人間が乗った弾丸を月へと発射する。初期のSFには、人間が月面で呼吸するなど非科学的な描写もあるが、この小説では宇宙船内での無重力状態など、宇宙旅行ならではの体験をすべに取り上げている。

科学的な知識に基づいた現実的な宇宙旅行の話を読みたいなら、アーサー・C・クラークの作品がお勧めだ。『火星の砂』(1951年)は、火星行き定期宇宙船の第1号の乗客となる作家が主人公。訪れるのは火星のドーム都市で、その屋根は東京ドームと同じく空気圧で支えられている。

宇宙旅行の先に起こるのは、宇宙への移住だろう。居住の形態は大別して2つ。宇宙に浮かぶ建造物に住むものと、地球以外の惑星や衛星に都市を築くものだ。アニメ『機動戦士ガンダム』シリーズには両方が登場する。

地球の人口爆発と資源枯渇への対策として、月の軌道上の重力的安定点に設けられたのがスペースコロニー。直径6.4km、長さ32.40kmの円筒形のなかに都市があり、回転により重力を生み出す。月にも複数の都市が築かれるが、その代表がクレーター地下にあるフォン・ブラウン市だろう。ここはもともとスペースコロニーを建造するための鉱物資源を採掘する基地で、巨大企業が工場や研究開発部門を移転したことで発展する。居住空間は5層で、最上層は太陽光や地球からの反射光が入るが、それ以外の層は人工的な照明で昼の状態をつくっている。



アニメ『機動戦士ガンダム』シリーズで描かれた月面初の恒久都市「フォン・ブラウン市」。
CG制作: 太田浩史+福島慶介
出典: 『機動戦士ガンダム公式設定集 アナハイム・ジャーナル U.C.0083-0099』(株式会社KADOKAWA)
©創通・サンライズ



明治13~14年に翻訳されたジュール・ヴェルヌ作「九十七時二十分間 月世界旅行」(当時の邦題、全10巻)のなかの挿絵。人間が弾丸に乗り込む姿が描かれている。
所蔵: 国立国会図書館

宇宙

で造る

【うちゅうでつくる】

特集●交通と都市の未来形

月から始まる 宇宙生活新時代

アポロ11号の乗組員が月面に降り立ってはや45年。人類が月よりも遠い天体に旅立つ夢は、まだ実現できていないものの、月を宇宙への足がかりとする研究は着々と進められている。人類が月に居住する可能性も含めて、月面利用に関する最新の研究成果を紹介する。

月面で太陽光発電？

清水建設株式会社では近年、宇宙太陽光発電システム「ルナリング」を研究している。

月の赤道1周1万1000kmに太陽電池パネルを敷き詰め、発電した電力をマイクロ波やレーザー光線に変換して地球に送り届ける構想だ。なぜ月なのか。同社技術研究所の金森洋史氏はこう説明する。

「月は、地球から平均38万kmの楕円軌道を常に同じ面を地球に向けて周回しているので、その月の表に送電施設を置

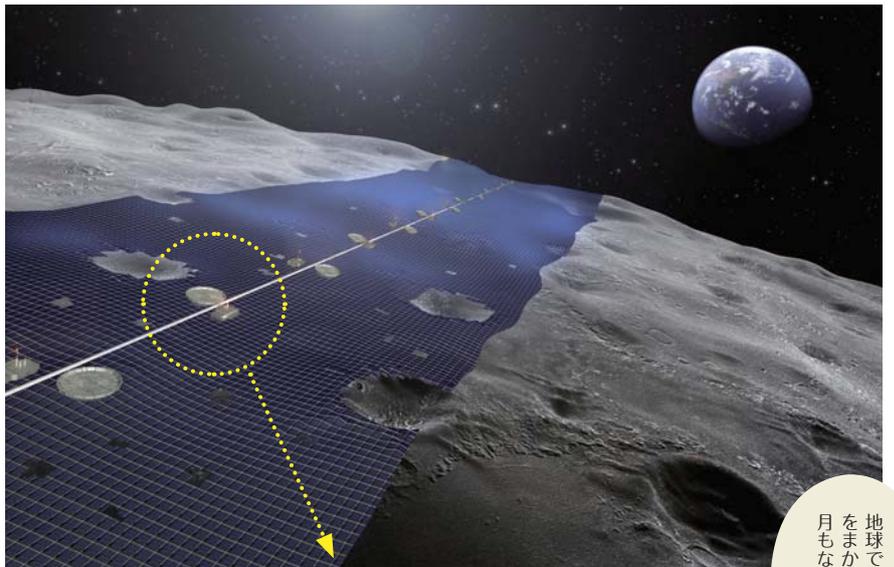
けます。また、月には大気がほとんどなく、太陽光が遮られません。広大な土地に太陽電池パネルを敷き詰めれば膨大な電力を生み出せます」

実現すれば、地球で使用する全エネルギーをまかなえるという。国際エネルギー機関^{※1}の算定では、2030年に地球で必要となるエネルギーは石油換算で170億t。幅400kmのルナリングならこれを充分まかなえるエネルギーを供給できると金森氏は試算している。

建設は、まず赤道上に輸送



コンクリート製月面基地のイメージ。
図版提供：清水建設

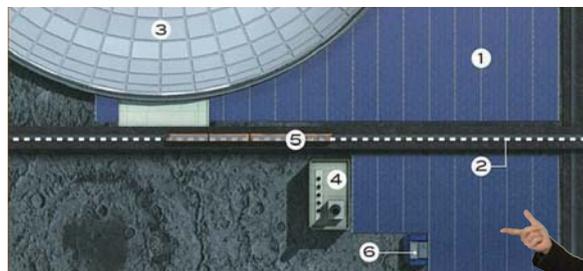


地球で使用する全エネルギーをまかなえるなんて、月もなかなかやるじゃない！



宇宙ホテルの模型
宇宙ホテルは低軌道に浮かべる。

宇宙に泊まれる時代が
すぐそこまで
来ているかも!?



ルナリングの施設構成

- ①月太陽電池
- ②送電ケーブル
- ③マイクロ波送電アンテナ
- ④レーザー光送光施設
- ⑤月赤道上輸送ルート
- ⑥自走式太陽電池生産プラント

図版提供：清水建設

※1 国際エネルギー機関：経済協力開発機構に付属する、28カ国からなる諮問機関で、エネルギー政策、エネルギー安全保障などに関して検討している。
※2 往還機：地上と宇宙を何度も往復できる宇宙船のこと。
※3 G：加速度の単位。地球上の重力(1G)の約7割の重力。

用リニアと複数の送電用超電
導ケーブルを設置。送電施
設も複数建てる。建設作業は、
ある程度自律性があり、リレ
ー衛星で監視・遠隔操作でき
るロボットが担う。鉄やケイ
素など、建設に必要な物質の
多くは月のものを使う。太陽
電池パネルは、居住ユニット
を備えた自走式太陽電池生産
プラントで、整地をしながら
月面に直接貼りつけていく。

「幅10〜20mで赤道から両極
に向けて敷いていきます。耐
用年数は、隕石による損傷も
計算に入れて数十年。修繕し
ながら使います」（金森氏）
かくも巨大なルナリングだが、
地球からは見えないものにな
るらしい。

「月は古来、多くの民族にと
って信仰の対象です。景観は
最大限変えないよう、透明に
近い太陽電池パネルを用いた
いです」と金森氏。人と月の
深いつながりへの配慮である。

月で遊ぶ、月で暮らす

ルナリングでの人の滞在に
は、清水建設が1987年から
行ってきた月面基地の研究が
活かされる。植物工場を建設
し、炭素や水の循環を生み出
すことも可能だ。

しかし滞在の旅では、月面

よりも同社の宇宙ホテルが早
期に実現するのかもしれない。
それは高度450kmの軌道上
に浮かぶ全長240mの巨大
構造物。往還機^{※2}でやってき
た滞在客は最下部のプラット
フォームに降り立ち、長いパイ
プをエレベーターで上昇。地
球や宇宙の眺めを楽しんで過
ごす。64ある客室は回転する
直径140mのリング上。遠心
力で0.7G^{※3}の人工重力を
つくり出しており、感覚は地上
に近い。とはいえせっかくの
宇宙だ。無重力での食事やス
ポーツも存分に楽しめる。

「月面の景色は多様性がな
く、数日で飽きるかもしれま
せん。スポーツはもちろん、
透明なドームで覆った月面露
天風呂、飛ばしすぎてもいけ
ない月面ゴルフ、バギー車で
の冒険など、楽しみがあると
いいですよ。低重力での腰
痛治療なども考えられます」
胸躍るアイデアが宇宙旅行
を待ち遠しくさせる。



金森 洋史氏 かなもり ひろし
清水建設株式会社 技術研究所
高度空間技術センター
宇宙・ロボットグループ グループリーダー

宇宙旅行の飛行イメージ



一般向けの宇宙遊覧飛行 が間近!

月で遊ぶにはまだ時間を要す
るが、実は、一般の人でも宇宙遊
覧飛行を楽しめる時代が目前に
迫っている。米ヴァージン・ギ
ャラクティック社は早ければ今年、全フライトタイム2時間の民間
宇宙旅行の提供を開始する見
通しだ。

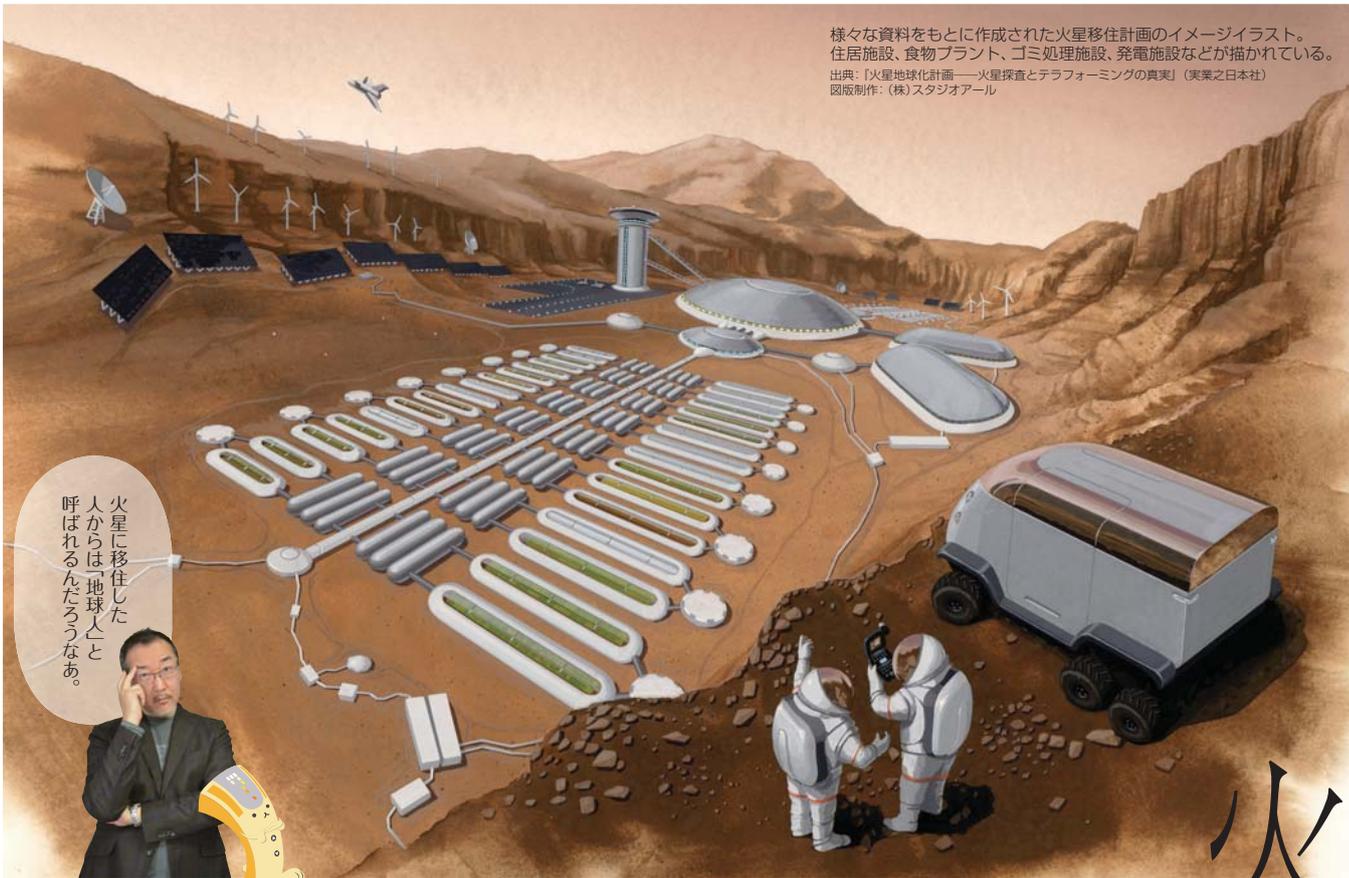
出発地はニューメキシコ州の
宇宙港。3日間の訓練を経た参加
者6名とパイロット2名が「ス
ペースシップ2」に乗り込む。高度
15km付近まで母機で運ばれ、切
り離されるとロケットエンジンを
点火。3.5Gの重力加速度を
体感しながら、音速の3倍で高度
110kmの宇宙空間まで一気に
上昇する。日本での公式代理店
である株式会社クラブツーリス
ム・スペースツアーズ代表取締
役社長の浅川恵司氏は、「宇宙に
到達したお客さまには、船内で
約4分間無重力の宇宙遊泳をお
楽しみいただけます」と語る。

このツアーは、世界中で約640
人がすでに料金を支払い、出発
日の連絡を待ち焦がれている。
ヴァージン・ギャラクティック社
では、今後10年間で3万人の参加
を見込んでおり、30年後の2045
年には料金が500万円程度になる
ことも期待されている。



浅川 恵司 氏 あさかわ・けいじ
株式会社クラブツーリズム・
スペースツアーズ
代表取締役社長

様々な資料をもとに作成された火星移住計画のイメージイラスト。住居施設、食物プラント、ゴミ処理施設、発電施設などが描かれている。
 出典：『火星地球化計画——火星探査とテラフォーミングの真実』（実業之日本社）
 図版制作：（株）スタジオアール



火星に移住した人からは「地球人」と呼ばれるんたらうなあ。



竹内薫氏・1960年生まれ。サイエンス作家。東京大学教養学科・物理学科卒業。マギル大学大学院博士課程修了（工学博士）。科学評論、エッセイ、言評、講演など、幅広く活動している。

火星に

住む

【かせいにするむ】

特集●交通と都市の未来形
火星地球化の可能性を探る

日本において火星は古くから「災いの星」とされてきたが、実は、人類が最も移住できそうな惑星である。ここでは、どうやって火星を地球化するのか、想定できるシナリオについて紹介する。

火星の環境を改造する

人類が移住できそうな星は、今のところ火星だけだ。大きさは地球の半分ほどで重力は約40%。酸素は少ないが、大気はある。大気は組成を変えることができるし、火星には水も存在する。平均気温はマイナス50℃近いが、赤道付近は20℃を超えることがある。

惑星の環境を変化させ、人類が住めるようにすることを「テラフォーミング」というが、サイエンス作家の竹内薫氏は火星において最も現実味のある方法を次のように述べる。

「まず、地球から液体水素と小さな化学工場を送り込み、火星の二酸化炭素を使ってロボットに水とメタンをつくら

せませす。水は水素と酸素に分解し、燃料になるメタンと酸素を貯蔵します。十分に貯蔵できたら人類が火星に行き、数十万年かけて植物を植える。こうした地道な進め方が最も賢明だと僕は思います」

より早く移住を実現する方法として、竹内氏は部分的なテラフォーミングを挙げる。広範囲を覆う巨大建造物を数多くつくり、そのなかを地球と同じ環境にするのだ。こうすれば、ある建造物でトラブルが発生しても別の建造物に住む人々が支援できるという。

いざ火星へ！

大勢が火星に行くには、一度に移送できる人の数が多いほ

ど効率的だ。竹内氏は、遠い将来実用化が期待される宇宙エレベーターが有望だという。

「人や物資はエレベーターで宇宙空間へ運び、そこから船団を火星に向けて押し出します。秒速11km程度で片道半年の旅になりますが、宇宙エレベーターが完成し、火星で燃料や水などを生産できれば始められます。火星からは、地球が青い点に見えますので、火星で育つ人々は、身体も価値観も、私たちとは違ってくるでしょうね」（竹内氏）

かつて戦争や火を象徴した赤い「災いの星」は、人類が移住することによってどのような色で夜空に輝いているだろうか。

この地球で生き延びていく知恵を求めて、 人間は宇宙へ旅立つ



スペースシャトル内に搭載された有人実験室「スペースラボ」で実験を行う毛利氏。写真提供：NASA



もつり・まもる ●1948年、北海道余市町生まれ。理学博士。1985年、日本初の宇宙飛行士に選ばれる。1992年と2000年の2回、宇宙船「スペースシャトル」で宇宙に飛び立ち、地球を回りながら実験や観測の仕事をを行った。2003年には潜水艇「しんかい6500」に搭乗して深海の様子を報告。2003年と2007年に南極に行き、皆既日食のハイビジョン中継を行う。また、南極昭和基地50周年事業で地球環境保護の大切さを報告した。現在は宇宙飛行士として日本の宇宙活動への助言をする一方、日本科学未来館館長として科学教育の普及に努める。著書に『モマの火星探検記』(講談社)、『宇宙からの贈りもの』(岩波新書)、『宇宙から学ぶ』(ユニバーシオジ)のすずめ(岩波新書)など多数。

青い地球と黒い宇宙

宇宙から見た地球には、2つの「青」があります。1つは、地球を覆っている薄い層の大気が太陽光を散乱させている青。もう1つは海です。ガガーリンが感動した青とは、この両方だったのでしよう。しかし、宇宙の光景で私が最も驚いたのは「黒」でした。地球上では表現できない「漆黒」です。地上では空気が光を散乱させるので、たとえ光るものがまったくない闇夜でも、宇宙で見た黒色にはなりません。もうすぐ民間では、高度100kmを超える弾道飛行の宇宙遊覧旅行が始まります。濃い空気は高度約30kmまでなので、100kmを超えれば、宇宙ならではの「本物の黒」を見ることができるようになります。

私ももし宇宙へ遊びに行くことができれば、宇宙空間にふわっと浮かび、月や地球、太陽を眺めながら昼寝をしてみたいです。究極の観光だと思いませんか？ 仕事ではとてもそんな余裕はありません(笑)。それから、火星には大変興味があります。ぜひ洞窟を探検して、生物の化石を探してみたいですね。火

星は約46億年前、地球と同じ頃に生まれ、数億年後には大量の水が海を形成していたと考えられており、たぶんそこで生物が生まれていたでしょう。地下には今もバクテリアのような微生物がいる可能性があります。私たちが地球の小動物くらいの生物がつかっていたのではないかと想像しています。

直観した地球の意味

火星は、月に比べれば人間が住めるような星です。しかし移住となるとそう簡単ではありません。人間は地球で生まれ、地球の環境に合うように、長い間、適応、進化してきたからです。本当に火星に移り住むなら、火星の環境に耐えられるように人間は自分の体を違う形に変える必要があるでしょう。火星は大気の成分も重力も違います。そこで暮らすためには、地球生命と違う生命になる覚悟と、挑戦が必要だと思えます。

もうひとつ重要なことは、地球で人間は、5000万種ともいわれる多くの生物とのつながりのなかで生きているという事実です。人間

は特別な存在ではなく、地球環境に生かされている。宇宙から地球を見ればそれを実感できますし、宇宙に行く一番の意義は、実はその点にあるのではないかと私は思っています。そう考えれば、はるか彼方の星々を見るのも、宇宙から地球を見るのも、結局のところ、地球に住む生命として生き延びる知恵を求めていることではないかと思えてなりません。

日本人宇宙飛行士はこれまで11人います。今後民間から100人ほど宇宙飛行すれば、「自分にも行けそう」という思いが人々の中に急速に広まっていく予感がします。そして、宇宙での実体験が、地球環境を大切にしようという意識を生み、その意識を多くの人々と共有していくと思えます。

旅とはいってもそうですが、宇宙も何度行っても新しい発見があります。1度目は想像を超える宇宙に衝撃を受けましたが、2度目は最初の飛行から8年も間が空いていたのに体にすっかり経験が記憶されていました。生命の環境適応の柔軟さはすごいですね(笑)。



Before

公共施設や駅、病院やデパートなど、北から南まで街の様々な場所でエレベーターは活躍しています。ここでは、東芝エレベーターのユーザーさまをご紹介します。

ユ - ザ - 訪 問



乗り心地、いかがですか？

導入事例

vol.6

石巻グランドホテル

Ishinomaki Grand Hotel

震災から立ち直り、「人の和を創る」ホテルへ



後藤 宗徳氏
株式会社ソーワダイレクト
代表取締役社長

宮城県石巻市にある石巻グランドホテルは、同市初の本格的な都市型ホテルとして開業し、街のステータスシンボルとして地元の人々から広く親しまれている。2011年の東日本大震災では地震と津波によって建物が被災したが、従業員の努力で同年8月には営業を再開。建物を一新するとともに、今年に入って4台のエレベーターもリニューアルした。同ホテルを運営する株式会社ソーワダイレクト代表取締役社長の後藤宗徳氏に、震災時とその後の経過、リニューアルの狙いなどについて伺った。

石巻グランドホテルは街のステータスシンボル

JR石巻駅から徒歩で5分ほどの場所にある石巻グランドホテルは、繁華街に面した便利な都市型ホテルである。街のステータスシンボルにもなっており、結婚式やパーティの会場としても広く利用されている。同ホテルを運営する株式会社ソーワダイレクト代

表取締役社長の後藤宗徳氏は、次のように語る。

「当社は、旧北上川沿いに石巻リバーサイドホテルを開業したことに始まり、その後、都市型ホテルの石巻グランドホテルを現在地に建設しました。石巻リバーサイドホテルは老朽化により取り壊しましたが、石巻グランドホテルの斜め向かいには、ビジネスホテルの石巻サンプラザホテルもあり

ます」

1973年に設立された同社は、現在、ホテル2軒のほか、ゲストハウス「アンジュガーデン迎賓館」を運営する。後藤氏は石巻観光協会の会長も兼務している。

地震と津波がホテルに襲来

ソーワダイレクトという社は「創和」の意味で、「人の和

DATA



住所：〒986-0827 宮城県石巻市千石町2-10

TEL：0225-93-8111

概要：1983年10月、石巻初の本格的な都市型ホテルとして開業し、1991年3月に増築開業。全135室。300人まで着席できる大宴会場や小宴会場もあり、結婚式やパーティの会場としても広く利用されている。近くには漫画家・石ノ森章太郎氏の記念館「石ノ森萬画館」もある。



Before



After

かご室天井
LEDライトを採用し、直接照明から間接照明にすることで、あたたかみのあるかご室を演出した。



After

エレベーター乗り場(1階)
フロント・ロビーの床面に合わせた色を選択。ホテルを訪れた顧客が寛ぎと安らぎを感じられる空間をつくった。



After

かご室操作盤
かご室の側面壁には、手すりと副操作盤を新しく設置。高齢者や車いすの方でもエレベーターを安心して利用できるようにした。

Before



を創ることが仕事」という後藤氏の経営理念に由来する。この「人の和」が危機に瀕したのが2011年3月に起きた東日本大震災である。

地震発生時、石巻グランドホテルの事務所にいた後藤氏は、大きな揺れが収まると、早速、お客さまや従業員の安全と建物の被災状況を確認した。幸いチェックアウト後で、宿泊客は客室におらず、けが人もいなかった。しかし、給水管の破断で館内に漏水が発生し、ロビーの壁や柱の大理石も崩落していた。後藤氏は300人を収容する大宴会場を見た時、思わず息を呑んだという。

「シャンデリアが粉々に壊れ、絨毯の上に破片が突き刺さっていました。お客さまや従業員がいたらと思うとゾッとしました」

ホッと一息つく間もなく、今度は防災無線から大津波警報が発令された。旧北上川はグランドホテルと直線距離で300m弱しか離れていないうえ、河口部から約2kmに渡って堤防がなかった。海側に高い山が2つあり、津波は川をさかのぼって街に流れ込むと後藤氏は予測。実際、川の方面からヒタヒタと黒い水が押し寄せてきたという。

「水に勢いはないのですが、ジワジワとやってくる。来るなよ、来るなよと念じながら外を見ていましたが、ついに玄関から泥水が入ってきました」

1階は50〜60cmほど水に浸かり、泥だらけになった。この日、津波は4回ほど押し寄せ、従業員がモップで泥をかきだすたびに台無しにされた。そのうち、被災した人々がホテルに避難してきた。避難者は、初日70人、2日目150人で、3日目には300人に達した。後藤氏は避難者をすべて受け入れ、ホテルはこの日から1カ月間、避難所になった。

**被災者のケアをしながら
事業再建に奔走**

同社は地震、津波で損害を受けただけではない。ホテルを運営できないため、その日か

ら収入がゼロになった。後藤氏は、当時約1000人いた従業員に3月分の給与を支払い、泣く泣くその9割を解雇した。しかし、解雇した従業員のうち、20〜30人は毎日ボランティアでホテルに通ったという。

「事業を再開し、軌道に乗せたら、全員を再雇用するつもりでした。しかし、将来を期待していた従業員は先に他社に移り、その間頑張ってくれたのは、私が叱ってきた従業員でした。私の人を見る目は節穴だったわけで、この震災は神様が人を見る目を養えと教えてくれたのだと思います」

後藤氏や常務取締役の小野寺夢津子氏は被災者のケアをしながら事業再建に奔走。改修資金の融資先も見つかり、再建への道筋が立った。

「震災後の一カ月間が先も見えず一番苦しかったですね。会社を生まれ変わらせるのは初めての経験で、苦しいですが、やりがいもありました」

ホテルのリニューアルオープンは、石巻の一大イベント「川開き祭り」が始まる2011年8月1日に設定された。これを機に、被災しボロボロになったホテルを復旧すべく、設備の入れ替え、壁や床などの貼り直しが行われた。厳しい

スケジュールだったが、従業員の努力で何とか期日に間に合わせる事ができた。現在は、かつての6割ほどの従業員を再雇用し、稼働率も震災前の水準に戻っている。

エレベーターも一新 癒しと快適な空間を

ホテルの改修で最後に残ったのはエレベーターだった。震災後も問題なく稼働していたが、一番古いエレベーターで導入後30年ほど経過していた。後藤氏は、2013年9月に4台のエレベーターのリニューアルを決断。今年1月から段階的にリニューアル工事が始まり、2月に完了した。その担当として意匠、仕様などを検討したのが、日頃からロビーに花を飾るなど、癒しと快適さのために気配りを怠らない小野寺氏である。

「震災後でもあり、明るさのなかに落ち着きのある意匠を求めました。車いすや高齢者の皆さんにも便利のように押しボタンを低い位置に設置し、安全性を高めるためのセンサーもドアに設置しました」

エレベーターのドアは金色で華やかだが落ち着いた色調で、かご室内は木目調の茶系

統色で目に優しい。後藤氏もリニューアルしてよかったです満足している。

「想像以上にいいですね。動きはスムーズだし、揺れもほとんどない。移動スピードは以前と変わりませんが、体感的に速くなりましたし、地震発生時は自動着床・復旧するので安心です。東芝エレベーターさんは創業以来のお付き合いで、他社への乗り換えは考えたこともありません。メンテナンスをしっかりとってくれるし、要望には誠実に対応してくれるからです」

会社を再建し、次の仕事は地域の復興だ。「あと5年で石巻を元気にしたい」と語る後藤氏に休む間はない。



1階ロビー

ホテルの顔となるロビーには、小野寺氏の発案で、薬師寺の大谷徹装執事による書と季節を感じさせるオブジェが飾られている。



ロビーに飾られたオブジェ

12月には華やかなクリスマスツリー、3月には春の香りを感じさせる桃の花と菜の花でロビーは彩られた。



小野寺 夢津子氏
株式会社ソーワダイレクト
常務取締役



ウェディング会場につながる エレベーターの乗り場(1階)

「お客さまをあたたかくお迎えしたい」という思いが伝わるよう、エレベーターのドアの色に妥協はない。



「石巻2.0」 地元主体の新しい街づくり

西田 司氏 にとだ あさむ
建築家／東京大学非常勤講師／
株式会社オランダデザインパートナーズ主宰

石巻の中心市街地は以前から空洞化が進み、シャッターが多くなっていた。そこに津波が襲いかかり、商店街にはさらに空き地、空き店舗が増えしまった。商店街の若手有志たちは、壊れた建物を復旧させるだけでは復興につながらないと考え、自分たちが中心となって新しい街づくりに乗り出した。それが「石巻2.0」で、全部で15のプロジェクトを展開し、これまでに人々の集う拠点を7カ所設けてきた。

建築家の西田司氏は、街の人々の熱い思いに感激し、石巻2.0で、東京の建築家、クリエイター、大学教授などを石巻と結びつけるファシリテーターとして活動している。石巻2.0の活動により、石巻は元気を取り戻しつつあり、西田氏はさらに「石巻で新しいパブリックの概念が生まれつつある」と感じている。

「行政などから与えられるものではなく、個人の意識をベースにして新しい街づくり、共同体づくりが進んでいます。結果として建築のあり方も変わってくるのではないのでしょうか」

西田氏は、石巻グランドホテルの後藤社長のように、自ら被災しながらも心を開き、街の人々を助け、外部の人と連携しながら復旧させていく市民の姿勢に感動したという。「この大震災によって、かつて日本人が持っていた『共助精神』がよみがえってきました」と語る西田氏。これこそ日本が世界に誇るべき『宝』だろう。



石巻2.0で設けられた拠点のひとつ
「復興バー」
写真提供：ISHINOMAKI 2.0



watanabe

かご室内とドアの意匠に
時間をかける

今回、リニューアル営業を担当し、小野寺氏と仕様、意匠を詰めていったのは、東北支社の渡邊恵一である。渡邊はその過程を次のように語る。

「小野寺常務との打ち合わせには約半年の時間をかけました。常務は特に、かご室とドアの意匠にこだわりをお持ちだったので、納得なさるまで、パネルの色見本などをいくつも用意しました」

小野寺氏は癒しの空間をつくるために、エレベーターにも統一性を求められたのだろう。最終的にかご室内は木目調の茶色になった

が、木目だけでもデザイン見本を10種類ほど用意したという。石巻グランドホテルでは、宿泊客だけでなく、結婚式やパーティーの参加者なども行き来するため、工事は細心の注意を払って進められた。工事は無事完了し、渡邊は、引き渡しの際に後藤氏と小野寺氏から「ありがとう」と笑顔で感謝されたことがうれしかったと語る。

渡邊はもともと保守担当だったが、先輩営業の姿に惚れ込み、望んで営業に転じた。今度は渡邊が後輩を引っ張っていく番だ。



メーカーの立場から

石巻から、仙台から、 お客さまの要望とこだわりに応えます

sato

被災して一時撤退し、
石巻営業所として再開

後藤氏が信頼を寄せていた保守業務の担当者は、2006年から石巻地区を任されている石巻営業所の佐藤広紀である。佐藤は「石巻グランドホテルさんは街のシンボルであり、市民の思い入れも強い。軽微な地震が発生した場合でも、必ずエレベーターの状況を確認するようにしています」と語る。石巻にはもともと東芝エレベーターのサービステーションがあった。しかし、東日本大震災でその建物が被災し、撤退を余儀なくされた。佐藤は仙台の実家に避難し、仙台支店から石巻に通って保守業

務を継続するが、当初は片道3時間もかかった。その後、移動時間は片道1〜2時間に減ったものの、余震は収まらず、復旧作業に遅れが生じる。「早く石巻に戻ってほしい」という顧客からの声に後押しされ、昨年10月、佐藤を含む3人体制の営業所を開設して再出発を果たした。

後藤氏に「戻ってきたか!」といわれて喜びを感じた佐藤は、「再開した石巻グランドホテルさんの姿を見るのはうれしいし、私もこの街に貢献したいと思います」と決意を新たにしている。



営業担当

渡邊 恵一
東芝エレベータ
東北支社 営業部
リニューアル営業グループ

保守担当

佐藤 広紀
東芝エレベータ
東北支社 仙台支店
石巻営業所
シニアフィールドエンジニア

持ち前の空想力を活かして
多角化した事業を成功に導く

太田光代

さん（会社経営者、タレント）

爆笑問題を人気者にした陰の立役者

太田光代さん——人気お笑いコンビ・爆笑問題の太田光さんの妻であり、同時にこのコンビが所属する芸能事務所タイタンの社長でもある。おそらくこの人がいなければ、爆笑問題は今ほど人気者にはなっていなかっただろう。彼らの才能を開花させたのは太田さんといっている。

もともとモデルとして出発した太田さんは、タレントの道へと進み、同じ事務所所属していた太田光さんと出会って結婚した。ところがほどなく、爆笑問題は所属事務所から独立する。売れない時代には、得意のパチスロで生計を支えたこともあった。やがて一念発起、太田さんは爆笑問題のために事務所を立ち上げる。会社経営の経験が何もない、ゼロからのスタートであった。タレント時代がつてをたどり、必死で爆笑問題を売り込んだ。その努力たるや察して余りある。

努力の甲斐あって、爆笑問題は人気コンビへと成長。タレントの数も増え、事業が軌道に乗ってからは、ハーブ専門店とフラワーシ

ョップの経営にも乗り出し、こちらも成功にこぎつけている。華奢な身体には似合わず、経営者としても辣腕の持ち主だ。

そんな太田さんが今回「私の忘れられない映画」として選んだのは、ウディ・アレン監督の『カイロの紫のバラ』である。

空想力の重要性を再確認させてくれる映画

浮気性で賭け事の好きな夫を持ち、辛い日々を送る女性が、銀幕のなかから抜け出してきた登場人物と恋に落ちる。はたしてそれは彼女の空想の世界の出来事なのか、それとも現実起こったことなのか。『カイロの紫のバラ』はそんな空想と現実のはざまで起こる不思議なラブストーリー映画だ。

太田さんが最初にこの映画と出会ったのは20年前のことである。ウディ・アレン好きの夫と二人で観た。

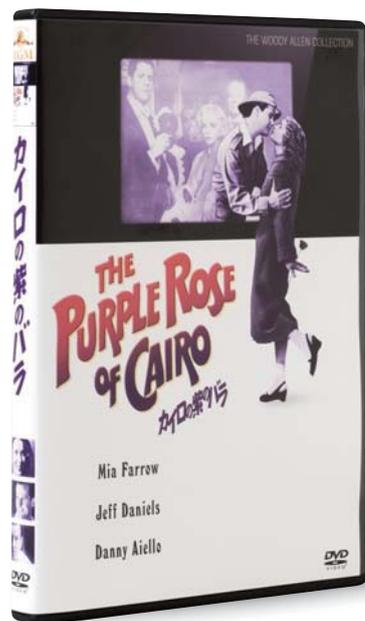
「主人の場合は、ウディ・アレン自身が主演を務めている理屈っぽい映画が好きです。でも、この映画では純粹に監督に徹していて、

出演していません。主演を務めたのは、当時交際していたミア・ファローでしたから、あまり主人好みではなかったようです」

それに反して太田さんは、ラブコメディのなかで、この作品が一番心に残る映画になった。

「多かれ少なかれ、満足できる人生を送っている人はいないと思います。皆、映画や本から元気をもらって生きています。この映画は誰しもが抱く、『自分も映画のようなステキな人生を歩みたい』という願望をとてもうまくつついていると思いました」

太田さんがこの映画に惹かれた理由はもうひとつある。太田さん自身もこの映画の主人公と同様、空想好きということだ。あれやこれやと空想し、リスクについても考えを巡らせる能力は、実は、今の社長業になくてはならないものだという。空想力こそが、太田さんの事業の推進力なのである。空想力の重要性を改めて確認させてくれるという意味でも、太田さんにとってこの『カイロの紫のバラ』が、かけがえのない映画であることは間違いない。



『カイロの紫のバラ』
監督・脚本：ウディ・アレン
1985年度作品
DVD発売中 1,419円＋税
20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン

時は1930年代、モスク（タニー・アイエロ）は失業中にもかかわらずギャンブルと女性に入れ揚げている。彼の妻セシリア（ミア・ファロー）は、ウエイトレスとして働きながら夫を支えているが、生活に疲れ果てていた。セシリアの唯一の楽しみは、大好きな映画を観てその世界にひたり、現実を忘れること。映画館で上映されている『カイロの紫のバラ』はもう何度も観ていた。

彼女は、幻の紫のバラを求めてカイロに來た登場人物の考古学者トム（ジェフ・ダンニエルズ）に憧れを抱いていた。いつものようにセシリアが映画を楽しんでいると、あるうちか、スクリーンからトムが抜け出てきた。そして二人はデートをすることになるのだが……。



おおた・みつよ●1964年生まれ。爆笑問題ほかのタレントが所属する芸能事務所・株式会社タイタン代表取締役。
現在、太田光さんのためにつくった映画制作会社ファニーパンドラで、太田光さんの脚本・監督の映画を準備中。



もたにここうすけ ● 日本総合研究所 主席研究員。日本の全市町村を訪問し、地域特性を多面的に把握。登壇・出演・寄稿は年間500件を超える。著書に『里山資本主義』など。最新の著書は『しなやかな日本列島のつくりかた』（新潮社）。



第43回新庄100円商店街(2012年10月開催)



齋藤一成さん

齋藤さんによると、社会人になるまでは商店街が遊び場だったという。齋藤さんにとって商店街は、子どもの頃の思い出が一杯詰まった場所なのだ。齋藤さんの著書に、『100円商店街の魔法』(商業界)がある。

今回のいいね!

地方都市の若手公務員が、商店街の歴史を変えた



かんはる 地方都市

第2回

山形県新庄市



【新庄市】
しんじょうし

山形県北東部の豪雪地帯にある、人口4万人弱の城下町。山形新幹線の終点で、近隣の温泉などの玄関口。新幹線延伸時に、身の丈を超える公共投資を行い、総務省から財政破綻の恐れがある自治体に認定されたこともあるが、今では完全に再生を果たした。

「公」に頼らず「私」で再生！
シャッター商店街が元気印に

振り返って、「あの時出会った小さな流れが、後々大きな河になったのか」と感動することがあります。2008年10月、山形県新庄市で開催された「全国100円商店街サミット」での齋藤一成君との出会いもそうでした。

彼は2カ月に一度開催される新庄100円商店街の創業者。大型店が撤退し普段は人影もまばらな商店街に、この日だけは一律100円の商品が目当てのお客さんが集まります。お店側にとっては在庫数を調整し、顧客基盤を拡大する大きなチャンスになっています。

新庄市役所の一若手職員ながら、20代で友人とNPO—AMPを結成し、「商店街

を丸ごと100円ショップにする」という発想を現実のものとした齋藤君。補助金は一切使わず、集客の実績で商店主を説得し、参加店を増やしてきました。

ですが、私が訪れた頃の彼はちょうど、「出る杭は打たれる」を地で行くような批判を周囲から受け、髪の毛がなくなるほどの心労に耐えていたのです。私が講演したサミットも、その時点では地方の商店街関係者が数十人ほど集まった、ささやかなものでした。

そんな彼も今では「出すぎた杭」となって、簡単には打たれなくなりました。東京や大阪を含め全国300商店街以上に広まった100

円商店街は、「商店街活性化の三種の神器」の筆頭といわれています。

齋藤君の持論は「商店街の活性化とは、そこにある個々のお店の収益の増加」です。地元で生活している人たちの生活基盤となる商店街を消さないためにも、店主自身の意識改革による活性化を行わなくては。そんな想いが全国の有志に共有され、大きなうねりとなって広がりました。

齋藤君は引き続き一地方公務員でありつつ、中小企業基盤整備機構の商業活性化アドバイザーも兼務し、全国を飛び回って、これまで培ってきたノウハウを惜しみなく伝えていきます。